

# 2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
07050101

## 1. 計画名称

茅野市ICT活用戦略

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

|            |        |    |   |
|------------|--------|----|---|
| 進捗評価       | おおむね順調 | 説明 | 平成30年度に新たに実施を予定していた事業については、一部を除いて着手することができ、おおむね順調に進めることができています。引き続き、着手した事業の着実な実施と計画中の事業についての検討を行っていく。 |
| 今後の重点化施策番号 | 1      | 説明 | 市民生活(特に子どもたちへの教育)の充実については、ICTを活用することによって大きな効果をあげることができるのではないかとこの視点から、市民生活・教育環境の充実・向上を重点化施策とする。        |

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

| 区分 | 施策名称                           | 進捗評価    | 総合評価  |  | 改革改善の具体的内容  |
|----|--------------------------------|---------|---|--|---|
|    |                                |         | 主な取組内容や成果   | 課題   |   |
| 1  | 市民生活・教育環境の充実・向上                | おおむね順調  | ICT教育の環境整備については、一部を前倒しするなど順調に進めることができた。市民向けスマホアプリ導入については、実施に向けての検討を行った。   | ICT教育の環境整備検討中の新規事業実施のための事業費確保。<br>市民(大人)むけ、情報リテラシー向上事業の内容検討。                           | 市民向けスマホアプリ導入については、引き続き内容も含めて検討する。<br>各講習会については、市民組織・NPOと事業形態を含め、長期・短期に随時検討を進める。                             |
| 2  | 公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出   | おおむね順調  | ①コワーキングスペース貸出は満室状態を維持し、月極デスクシェアを設けたことにより、様々な職種の人が集まり出し、活気を生み出している。<br>②理科大との連携によるスワリカブランド創造事業を通じて、IoT通信技術を活用した地域課題の解決に向けた研究開発を実施。 | ①地元の製造業との連携や、理科大生の利用を促進するなど、より地域に根差した施設にする必要がある。<br>②実用化を見据えた研究開発をスピード感を持って推進する必要がある。  | ①時代の潮流に合った、魅力あるイベント等の開催を継続し、訴求力を持った施設としていく必要がある。<br>②研究開発のみならず、それをユーザーに届けるための新サービスを一体的に創出し、実用化に向けた動きを具体化する。 |
| 3  | 行政サービスの利便性向上、情報セキュリティの確保と業務効率化 | やや遅れている | 住民票・税証明などのコンビニ交付事業の準備を進め、2019年3月から事業を開始した。ペーパーレス会議システムの導入実施に向けての検討を行った。タブレット端末を利用した、農地パトロール及び転作確認システムを2018年度に導入した。                | 検討中の新規事業実施のための事業費確保。<br>住民票・税証明などのコンビニ交付に必要なマイナンバーカードの普及。                              | ペーパーレス会議システムの導入については、内容を再検討する。<br>マイナンバーカードの普及啓発活動の検討。  |
| 4  | 戦略的な情報発信とオープンデータの提供            | おおむね順調  | ①インターネット動画番組の配信を開始した。<br>②公式フェイスブック、インスタグラムの各ページを開設した。<br>③2019年度4月の公式ホームページのリニューアルに合わせ、オープンデータ公開の準備を進めた。                         | ①インターネット動画配信については、再生回数の多い動画がある一方で、極端に低いものもある。<br>②SNSについては、市民のフォロワーが多く、市外への情報拡散が希薄である。 | ①企画・内容の精査を行い、認知向上を図る。フェイスブック、インスタグラム、ホームページから誘導を図る。<br>②SNSについては、フェイスブックのターゲティング機能を活用し、市外のユーザーに向けた広告宣伝を行う。  |
| 5  |                                |         |   |  |   |

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

|           |             | 主な意見                                 | 市の考えや対応など  |
|-----------|-------------|--------------------------------------|--|
| 関連市民団体等名称 | ICT活用戦略検討会議 | 指標が計画の基本目標全体を包括しているとはいえないものもある。      | 指標の数値管理の他に、指標にはなっていない各事業の実施状況を確認しながら進行管理を行っていく。新規事業であるため、事業結果数値の分析を行っていきながら、今後も随時目標値を検討していく。 |
| 開催回数      | 1           | 指標の目標設定に当たっては、対象者の設定など細かい分析が必要ではないか。 |  |
| 参加延べ人数    | 11          |                                      |  |
| 関連市民団体等名称 |             |                                      |  |
| 開催回数      |             |                                      |  |
| 参加延べ人数    |             |                                      |  |

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」